

令和2年度 社会科（歴史的分野） 1年 年間指導および評価計画 中野区立第二中学校 6－（2）

月	単元名・教材名	配当時間	単元の目標	評価規準	学習指導要領との対応
6月・家庭学習含む	【第1章】 歴史の移り変わりを考えよう。 ①既習歴史事項を確認 ②歴史人物カード作り ③人物カード紹介と発表 ④建造物・文化との関わり	4	○小学校で学習した歴史上の人物や建造物について振り返り、「人物カード」をつくる作業を通して、時代の特色や歴史の移り変わりへの興味・関心をもつ。 ○時代区分の方法や年代の表し方(西暦・世紀・年号〔元号〕)について理解し、年表の見方を身に付ける。	【知】 時代区分の方法や、西暦・年号に紀年法、世紀の区切り方について理解している。歴史上の人物や建造物に関する資料を収集し、適切に選択してカードにまとめている。 【思】 時代の特色や移り変わりについて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している 【主】 時代の特色や移り変わりに対する関心を高め、主体的に追求しようとしている。	(1) ア イ ウ
	【第2章】 原始・古代の日本と世界 [第1節] 人類の出現と文明のおこり ①生きぬく知恵 ②エジプトはナイルの賜物 ③骨に刻まれた文字 ④東と西をつなぐ道	5	○人類が出現し、やがて世界各地で古代文明や宗教がおこったことを理解する。 ○日本列島で狩猟・採集を営んでいた人々の暮らしの変化について考える。	【知】 世界各地で古代文明が築かれたころの日本列島の人々の様子を資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりして理解している。 【思】 世界の古代文明の特色や宗教のおこり、日本列島の人々の暮らしについて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している 【主】 人類の出現や古代文明の発生、日本列島における人々の暮らしに対する関心を高め、主体的に追求しようとしている。	(2) ア
	[第2節] 日本の成り立ちと倭の王権 ⑤日本列島のあけぼの ⑥楽浪の海中に倭人あり ⑦東アジアの中の大和政権	5	○紀元前後の世界では、中国や地中海地域に統一国家が成立し、東西の交流が行われていたことを理解する。 ○日本列島での農耕の広まりによる人々の生活の変化に気づき、国家が形成されていく過程のあらましを東アジアとの関わりを通して理解する。	【知】 東西の交易と日本列島での農耕の始まりに伴う人々の生活の変化について様々な資料を活用し、読み取ったりしながら理解している。 【思】 農耕の広まりと大和政権について多面的・多角的に考察し、結果を適切に表現している。 【主】 紀元前後の世界と日本の生活の変化に対する関心を高め、主体的に追求しようとしている。	(2) ア

7	<p>[第3節] 大帝国の出現と律令国家の形成</p> <p>⑧広がる国際交流 ⑨あつく三宝を敬え ⑩律令国家への歩み</p>	4	<p>○7～8世紀の世界では、東西に大帝国が成立し、シルクロードを通じた国際交流が盛んになったことを理解する。</p> <p>○日本では、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら、国家のしくみが整えられたことを理解する。</p>	<p>【知】国際交流が盛んになったころに日本の国家のしくみが整えられたことを資料を、活用し、読み取ったりして理解している。</p> <p>【思】聖徳太子・飛鳥文化・律令国家の確立について多面的・多角的に考察し、結果を適切に表現している</p> <p>【主】日本と大陸との交流に関心を高め、律令国家が確立していく過程を主体的に追求しようとしている。</p>	(2) イ、ウ
7	<p>[第4節] 貴族社会の発展</p> <p>⑪シルクロードにつながる道 ⑫木簡と計帳は語る ⑬望月の欠けたることもなしと思えば ⑭「以呂波」から「いろは」へ</p>	5	<p>○天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展していったことを理解する。</p> <p>○国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを理解する。</p>	<p>【知】天皇や貴族中心の政治が発展する過程と、その時代の文化の特色を貴族や農民の暮らしと摂関政治に関する資料を活用し、読み取ったりして理解している。</p> <p>【思】貴族や農民の暮らしと摂関政治について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。</p> <p>【主】古代国家が発展する中で誕生した文化について関心を高め、主体的に追求しようとしている。</p>	(2) イ、ウ
	◆学習のまとめと表現	2	○学習した内容を活用してその時代を大観し、表現活動を通して、時代の特色を捉える。	【知】【思】【主】適切な資料を選択し、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現活動に主体的に参加して、知識を身に付けている。	(1) ウ
11	<p>【第3章】 中世の日本と世界</p> <p>[第1節] 世界の動きと武家政治の始まり</p> <p>①大陸をまたぐ大帝国 ②貴族から武士へ</p>		<p>○13世紀ごろの世界では、ユーラシア大陸をまたぐ広大なモンゴル帝国(元)が成立し、東西の貿易や文化交流が盛んになったことを理解する。</p> <p>○日本では、武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配がしだいに全国に広まったことを理解するとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた新たな社会や文化の特色について考える。</p>	<p>【知】東西の交易や文化交流が盛んになったころ、武士の台頭の中で鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まり、新たな文化が生まれたことを様々な資料を活用し、読み取ったりしながら理解している。</p> <p>【思】鎌倉幕府の成立と禅宗の文化的な影響について多面的・多角的に考察し、結果を適切に表現している</p> <p>【主】日本で武士が台頭し、鎌倉幕府が成立したことに対する関心を高め、その中で誕生した社会や文化について、主体的に追求しようとしている。</p>	(3) ア、イ (1) イ
12	<p>③「一所懸命」の戦い ④いざ鎌倉 ⑤祇園精舎の鐘の声</p>	6			

1	[第2節] ゆれ動く武家政治と社会 ⑥海から押し寄せる元軍 ⑦このごろ都にはやるもの		○南北朝の争乱と室町幕府の成立, 応仁の乱後の社会的な変動と戦国の動乱について, 東アジア世界との密接な関わりとともに理解する。	【知】 諸産業の発達や都市や農村などの社会の変化を様々な資料を活用し理解し、武士や民衆の活力を背景に誕生した文化の特色を理解している。 【思】 諸産業の発達や政治の動きについて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	
2	⑧行き交う海賊船と貿易船 ⑨北と南で開かれた交易 ⑩団結する村、にぎわう町 ⑪下剋上の世へ ⑫今につながる文化の芽生え	7	○農業などの諸産業が発達し、畿内を中心とした都市や農村に自治的なしくみが成立したことを理解するとともに、室町文化には禅宗の影響や現在との結び付きがみられることに気づく。	【主】 鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開と経済・文化の発達について関心を高め、主体的に追求しようとしている。	(3) ア、イ
3	◆学習のまとめと表現	2	○学習した内容を活用してその時代を大観し、表現活動を通して、時代の特色を捉える。	【知】【思】【主】 適切な資料を選択し、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現活動に主体的に参加して、知識を身に付けている。	(1) ウ
		91			